富士宮市清掃センター維持管理状況

2026/6/10版

調査項目		内　　容
１名称		富士宮市清掃センター
２構成		富士宮市
３利用人口（令和8年4月1日現在）		125,124　　人
４世帯数　（同上）		59,917　　世帯
５面積		389.08ｋ㎡
６事務内容		施設の運営、維持管理、一般廃棄物の処理、一般廃棄物計量及び集計、処理手数料事務、施設の視察・見学等に関すること
７機　構		①市機構 環境部 ― 環境未来課 環境部 ― 生活環境課 環境部 ― 花と緑と水の課 環境部 ― 清掃センター ②清掃センター職員構成

	市職員数	委　託	合　計（人）
全職員数	14	37	51
焼却炉	5	21	26
粗　大		7	7
計量・投入監視他		4	4
最終処分場		4	4
管理・事務	9	1	10

8ごみについて	①　分別大要（R8年度）	分別収集（13品目）：可燃物・不燃物・紙パック・トレイ・ペットボトル・かん・ビン・粗大ごみ・廃蛍光管等・廃乾電池・スプレー缶・プラスチック・充電池 拠点回収：古紙類・衣類革類・廃食用油・使い捨てライター等 ※―は清掃センターで処理するもの
	②　集積場所数（R7年度末）	可燃物　2,457　カ所、　不燃物　1,980　カ所 廃食用油回収拠点　10 カ所　　使い捨てライター　21 カ所 携帯電話・インクカートリッジ　15 カ所　　充電池　12 カ所 古紙回収ステーション　31 カ所、　衣類・革類回収ボックス　20 カ所
	③　減量化の取組（R7年度）	古紙等リサイクル奨励金（3.0円/ｋｇ）
		ごみダイエットプロジェクトの実績（H28年度～）
	④清掃センターごみ搬入量（R7年度）	

	(R7)		(R6)		
●全体搬入量	31,918.18	t	32,236.50	t（前年度比）	99.0%
▶ 搬入方法別					
収集搬入量	20,835.18	t	21,052.84	t	(99.0%)
直接搬入量	11,083.00	t	11,183.66	t	(99.1%)
▶ ごみの種類別					
可燃物	29,139.25	t	29,334.88	t	(99.3%)
不燃物	2,778.93	t	2,901.62	t	(95.8%)
（粗大ごみ）	387.18	t	399.66	t	(96.9%)
（資源ごみ）	271.18	t	302.16	t	(89.7%)
▶ ごみの排出元別					
生活系	22,611.68	t	22,825.35	t	(99.1%)
事業系	9,306.50	t	9,411.15	t	(98.9%)

	⑤搬入実績推移	H26　42,459　t　H30　40,919　t　R4　37,266　t H27　41,777　t　H31　40,387　t　R5　36,117　t H28　41,271　t　R2　39,300　t　R6　32,236　t H29　40,968　t　R3　37,900　t　R7　32,918　t
	⑥収集台数（民間委託業者保有台数）（R7年度）	富士宮清掃（株）27台（収集車　21　平ボディ　6　） （有）芝川清掃　7台（収集車　4　平ボディ　1　軽トラック　1　） ※４トン車のごみ積載量3.5トン
	⑦一人一日当たり排出量 ※一般廃棄物処理基本計画実績	※　富士宮市　R6年度　：　788　（R5年度：　839　） 富士宮市　R6年度　：　781　（R5年度：　833　） 全国平均　R6年度　：　839　（R5年度：　851　） 県平均　R6年度　：　791　（R5年度：　807　） （資料：一般廃棄物実態調査）
	⑧鞍骨沢最終処分場埋立状況 （R7年度） 埋立容量106,289㎥ 埋立面積16,714㎡	焼却残渣埋立実績 焼却灰発生量　3,449　t　内 落じん灰売却242ｔ 資源鉄回収量　69　t 翌年度委託繰越分　33　t 委託処理量　3,105　t 残余容量　12,743　㎥
９清掃工場の概要	①処理能力	焼却施設　２４０ｔ/日（１２０ｔ/日×２基） 粗大ごみ処理施設　５０ｔ/５時間
	②炉形式	全連続燃焼式ストーカ炉　全長10.25m　幅2.43m 長さ/幅比＝3.03 乾燥ストーカ部　長さ　3.00m　燃焼所要時間　30分 燃焼ストーカ部　4.86m　30分 後燃焼ストーカ部　2.38m　1時間
	③敷地面積	３１，５５０㎡
	④建物面積（工場棟のみ）	３，００１㎡　（延床面積　７，１８７㎡　（RC一部S構造）
	⑤建設年度	焼却施設　着工　H　3．　12 竣工　H　6．　8 灰固形化施設　着工　H　13．　8 竣工　H　14．　8 鞍骨沢最終処分場　着工　H　8．　9 竣工　H　10．　3 粗大ごみ処理施設　着工　S　50．　11 竣工　S　51．　7
	⑥建設費	焼却施設　80億1，200 万円 灰固形化施設　3億1，227 万円 鞍骨沢最終処分場　18億1，795 万円 粗大ごみ処理施設　３億4，942 万円
	⑦排ガス目標値（基準値）	１）　ばいじん　0.02ｇ/㎥　（0.08ｇ/㎥） ２）　SOX　50 ppm　（469ppm＝K値　3.5） ３）　NOX　150 ppm　（250ppm） ４）　HCL　60 ppm　（430ppm＝700ｍｇ/㎥） ５）　ダイオキシン　1ng TEQ/㎥N ダイオキシン類　R7年度毒性等量 0.15 ng　（１号炉）　0.051 ng　（２号炉）
	⑧焼却炉運転管理体制　（R7年度）	２４時間操炉、操炉人員２０人体制、（運転管理班４班×５人：うち委託者１５人）　整備班５人（委託）、技術管理者３人

	⑨勤務時間	日勤　(8：30～17：15／7H45M) 夜勤　(17：00～8：45／13H30M)
	⑩余熱利用	施設内の冷暖房・給湯　約30万ｋcal/H 富士山天母の湯　約70万ｋcal/H
１０ごみ処理経費 （歳出・歳入）	①清掃センターごみ処理経費 （R7年度）	じん芥処理費　(歳出)　1,489,412　千円 (歳入)　164,359　千円 ごみ処理単価　〔(歳出)÷ごみ搬入量〕　46,663　円/ｔ 一人当たりごみ処理単価　11,903　円/人・年
	②清掃センターごみ処理経費 （主要項目） 千円以下切り捨て	１焼却炉薬品等　49,365　千円　(委託料変動費分) ２焼却炉部品等　8,739　千円 ３立上用灯油代　1,228　千円 ４破砕機・処分場部品費　4,525　千円 ５保守用品　1,145　千円 ６燃料費　(ダンプ等軽油)　1,879　千円 ７光熱水費（電気料金）　128,618　千円 ８修繕費　焼却炉定期整備　17,501　千円 焼却炉関係　200,750　千円 粗大施設関係　32,115　千円 処分場関係　4,576　千円 建築付帯設備等　3,003　千円
	③焼却炉修繕費年度推移 （単位：千円） 千円以下切り捨て	H14　99,343　H15　116,897　H16　133,363 H17　92,989　H18　86,015　H19　83,919 H20　139,486　H21　133,504　H22　185,783 H23　146,283　H24　123,865　H25　110,124 H26　101,221　H27　113,016　H28　152,316 H29　152,264　H30　115,244　H31　158,780 R2　191,891　R3　207,792　R4　211,816 R5　254,907　R6　188,166　R7　218,251
	④歳入実績 （主要項目）	１一般廃棄物処理手数料 R3　9,060.47　ｔ　収入額　135,907,050　円 R4　8,993.90　ｔ　収入額　134,908,500　円 R5　8,782.67　ｔ　収入額　131,740,050　円 R6　8,286.53　ｔ　収入額　124,297,950　円 R7　8,237.72　ｔ　収入額　123,543,000　円 ２資源鉄等売払代 ● シュレッダ　474.01　ｔ　収入額　11,000,729　円 ● 修繕発生鉄　31.56　ｔ　収入額　591,602　円 ● プレスアルミ　82.60　ｔ　収入額　19,950,601　円 ● 小型家電等　93.18　ｔ　収入額　6,265,930　円 ● 被覆電線　7.50　ｔ　収入額　314,490　円 ● 古紙　7.23　ｔ　収入額　65,211　円
１１その他・実績 （R7年度）	①　処理状況	R7年度焼却量　31,610　ｔ R7年度焼却炉稼働延べ日数　355　日 R7年度破砕処理量　2,779　ｔ

	② 電力等使用量	購入電力量合計（処分場含む） 5,416 Ｍｗｈ/年 購入電力料金合計（〃） 128,618 千円/年 電力使用量（焼却破砕関係） 143 kwh/ｔ 4,902 Ｍｗｈ/年 電力料金 （焼却破砕関係） 3,382 円/ｔ 116,317 千円/年 用水使用量 4.14 ㎥/ｔ 130,785 ㎥/年 灯油使用量 0.28 Ｌ/ｔ 8,759 Ｌ/年
	③ 薬品使用量	消石灰使用量 5.24 kg/ｔ 165.76 ｔ/年 助剤（タクロン） 1.78 kg/ｔ 56.19 ｔ/年 キレート剤 1.26 kg/ｔ 39.92 ｔ/年
	④ 資源化量	● シュレッダ 474.01 ｔ （スチール缶 114.66ｔ・処分場鉄68.64ｔ含む） ● くず鉄 116.86 ｔ ● くずアルミ 23.44 ｔ ● 小型家電等 93.18 ｔ ● 被覆電線 7.50 ｔ ● 古紙 12.72 ｔ ● ふとん類 39.71 ｔ ● せん定枝 15.38 ｔ （チップ・薪） ● かん 197.26 ｔ （スチール・アルミ） ● 廃乾電池 35.14 ｔ 委託料 （ 2,422 千円） ● 廃蛍光管 6.94 ｔ 委託料 （ 795 千円） ● 焼却灰等 3,105.06 ｔ 委託料 （ 131,974 千円）
	⑤ 事業系ごみ	搬入量 (R7年度) 8,237.7 ｔ 許可業者数 (R7年度) 38 社 登録事業者数 (R7年度) 23 社
	⑥ ごみ質 （乾重量ベース） 採取日 R7 5.29 R7 8.25 R7 11.27 R8 2.26	年４回の平均値 単位容積重量 302.5 kg/㎥ 水分 51.3 ％ 可燃分 43.5 ％ 灰分 5.3 ％ 組成割合 紙 39.0 ％ 布類 1.6 ％ 木・竹・わら類 23.8 ％ ちゅう芥類 8.5 ％ ビニール・合成樹脂 17.9 ％ ゴム・皮革類 0.6 ％ 不燃物 3.7 ％ その他 4.9 ％